



約270年前に建てられた城端別院善徳寺
山門（富山県指定文化財）

じょうはな

むしほしほうえ

隠れた宝石、富山の名刹・城端別院善徳寺「虫干法会」開催(7/22～28) 寺宝およそ500点の御開帳拝観と民藝聖地を巡るツアーも実施

一般社団法人富山県西部観光社 水と匠は、観光庁の支援を受け（観光再始動事業）、明治時代より続く「虫干法会」（主催：真宗大谷派 城端別院善徳寺）をより多くの方に知っていただくための事業に取り組んでいます。

真宗王国・北陸を代表する寺院であり、柳宗悦が滞在した民藝の聖地で開催される宝物開帳

およそ550年の歴史を持つ名刹・城端別院善徳寺には1万点と言われる宝物があり、年に1度勤められる「虫干法会」において、その中から約500点が寺院内に所狭しと展示されます。前田家や豊臣秀吉など大名ゆかりの品々、美術工芸品、仏教関係の品など価値ある宝物を間近で鑑賞できる貴重な機会です。また、「民藝運動」の創始者・柳宗悦が62日間滞在した「民藝の聖地」でもあり、棟方志功や濱田庄司など民藝作家の作品も多数保有しています。



およそ420年前に加賀藩2代目藩主・前田利長が宿泊した部屋にも宝物が展示される。

照明デザイナー・面出 薫や建築デザイン事務所・五割一分が展示演出に参画

水と匠は観光を通じた地域づくりを行う団体として、まだ全国的には知られざるこの催しを国内外に発信する事業に取り組んでいます。その一つとして、価値ある宝物の展示演出のため、展示台・サインなどの空間デザインを富山と東京に拠点を持つ「五割一分（ごわりいちぶ）」に、照明演出を日本を代表する照明デザイナー・面出 薫が率いる「ライティングプランナーズ アソシエーツ（LPA）」に依頼。より充実した空間体験を提供します。

「虫干法会」と富山の土徳をめぐる旅

また、疎開をきっかけに板画家・棟方志功が富山に7年近く暮らしていたことで、柳宗悦も富山を何度も訪れ、厳しくも豊かな自然と共に暮らす人々のさまを見て、「この地には『土徳』がある」と言ったとのこと。

その『土徳』にインスパイアされ、民藝思想の集大成と言われる論文「美の法門」をここ善徳寺で書き上げたこともまだまだあまり知られていません。虫干法会では、柳が滞在した部屋がそのまま残され、そこに民藝ゆかりの品々が展示されます。

水と匠では、「虫干法会」を僧侶の解説付きで拝観すると共に、棟方が最初に疎開した「光徳寺」など、富山の土徳を体感するツアーも実施します。

この機会に、Hidden Gem（隠れた宝石）とも言える、善徳寺の虫干法会に多くの方に訪れていただけたらと思います。

●城端別院善徳寺「虫干法会」

日時：2023年7月22日（土）～28日（金）

宝物展示は、9:00～17:00

場所：城端別院善徳寺（富山県南砺市城端405）

<http://www.zentokuji.jp/>

主催：真宗大谷派 城端別院善徳寺

宝物開帳だけでなく、蓮如上人と聖徳太子の生涯を絵物語で語る「絵解き」、力自慢を競う「盤持ち大会」、柳も棟方も好物だったという、善徳寺特製「さばずし」の提供など、多彩な内容で開催されます。

●名利・城端別院善徳寺「虫干法会」と富山の土徳をめぐる旅

【7月22日（土）】

棟方志功はじめ世界の民藝品を展示する「光徳寺」拝観→日本民藝協会理事で大福寺住職の太田浩史氏によるお話をうかがう。

【7月23日（日）】

城端絹織物「松井機業」の工房訪問→善徳寺で「お斎（とき）」ランチ（名物・さばずし付）→「虫干法会」拝観と善徳寺ミニツアー

料金：両日14,500円／22日のみ6,000円／23日のみ8,500円

*「楽土庵」宿泊プラン：62,000円～ <https://www.rakudoan.jp/>

企画運営：株式会社水と匠

*詳細、申込みは水と匠サイトから

→<https://mizutotakumi.jp/>



豊臣秀吉が寝所で使っていたという枕屏風



加賀藩・前田家から住職を迎えたことなどにより、前田家の調度品も多数



柳宗悦が感銘を受けたという、世界最古の背綴本「色紙和讃」



善徳寺のさばずし小屋で作られる名物「さばずし」もいただける



僧侶の解説による「虫干法会」ツアー（2021年）

城端別院善徳寺

今から約550年前に本願寺第8代 蓮如上人によって開基され、現在は、東本願寺（真宗大谷派）の城端別院。戦国時代は北陸の一向一揆の拠点の一つとなっていたが、江戸時代には加賀藩前田家の庇護のもと、越中の触頭役（頭寺）を勤めて隆盛し、加賀藩主の子を住職として迎えることもあった。創建以来火災にあっておらず、420年前に前田利家が宿泊したと言われる部屋や250年前の茶室も現存している。また、哲学者・鈴木大拙の弟子で「民藝運動」の創始者である柳宗悦が62日間逗留し、民藝思想の集大成となる論考「美の法門」を書き上げた部屋も当時のままに残されている。

公式サイト：<http://www.zentokuji.jp/>



面出 薫

1950年、東京に生まれる。東京芸術大学大学院修士課程を修了。1990年（株）ライティングプランナーズ アソシエーツ（LPA）を設立、代表取締役。住宅照明から建築照明、都市・環境照明の分野まで幅広い照明デザインのプロデューサー、プランナーとして活躍するかたわら、市民参加の照明文化研究会「照明探偵団」を組織し、団長として精力的に活動を展開中。現在、武蔵野美術大学客員教授、東京芸術大学の非常勤講師。



東京国際フォーラム、JR京都駅、せんだいメディアテーク、六本木ヒルズ、長崎原爆死没者追悼平和祈念館、京都迎賓館、シンガポール国立博物館、シンガポール中心市街地照明マスタープラン、東京駅丸の内駅舎保存復原ライトアップ、アマン東京などの照明計画を担当。著書に『世界照明探偵団』鹿島出版会、『都市と建築の照明デザイン』六耀社、『陰影のデザイン』六耀社、『光のゼミナール』鹿島出版会、『建築照明の作法』TOTO出版、『LPA 1990-2015 建築照明デザインの潮流』六耀社など多数。

ライティングプランナーズ アソシエーツは、優れた光環境の創造を通じて建築文化や照明文化に広く貢献するために設立された、光の専門技術集団。東京とシンガポール、香港、深圳を拠点におよそ60名の個性的な社員によって構成されている。建築照明デザインを中心とし、住宅からホテル、オフィスビル、商業施設、公共空間、ランドスケープから都市環境まで幅広い分野の照明デザインを行っている。

公式サイト：<https://www.lighting.co.jp/>

51% 五割一分

1972年設立。2004年社名を五割一分(ごわりいちぶ)と改め、富山市内にインテリアショップ、ギャラリーを併設したオフィスを開設。2013年東京・神田神保町に51% Tokyoを開設。2021年、東京・代々木へ51% Tokyoを移転。

建築設計、家具の販売をはじめ、インテリア小物、古道具、書籍などの販売、広告・アートディレクション迄。“美しいと思えるモノ”の全ての垣根を越えて、様々なアイテムを独自の視点で編集し展開する。

公式サイト：<https://www.5waribu.jp/>



下記より宣材写真などダウンロードいただけます。

<https://onl.bz/Ur1n89e>

取材依頼・問合せ先：株式会社 水と匠

〒933-0397 富山県高岡市内島3550番地 Tel.0766-95-5170 Fax.0766-95-5171
info@mizutotakumi.jp

<https://mizutotakumi.jp/>